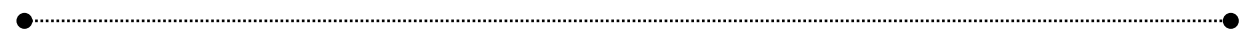


### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青木村産にんにく普及・振興事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人あい・友 あい・友農園 青木村 03-3485-1793
事業区分	(1)産業振興、雇用拡大に関する事業 (2)障がい者、女性、若者の雇用促進および就業・定住支援
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,135,955 円 (うち支援金: 4,086,000 円)



#### 事業内容

- (1)農業の機械化(青木村産にんにく)による高齢者の活用  
青木村の芽子(めご)にんにく生産農家 34 戸と協働し、収穫量を前年比 150%に増産するとともに 4L、A 級品が全体の 88%となる収穫を得た。
- 2)「芽子にんにく」(発芽にんにく)プラントをコンピュータ化・システム化することによる軽作業化で障がい者、高齢者、女性、若者の雇用推進  
情報化による植物工場プラント管理と、その情報を生産にフィードバックすることにより、就労できる方のすそ野を広げ、効率的な就労環境の整備をすすめた。
- (3)地産地消ブランドとして普及  
6 次産業化をすすめる地産地消の推進、地域社会との連携、官産学協同を実施した。



【東信ジャーナル 2017/2/17 掲載】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

青木村の生産および販売を行う拠点をベースに、地元、地域の皆さまのご協力により、上田、別所温泉に商品を置く拠点を獲得、上記事業を推進する基盤づくりをよりすすめることができた。「ながく健康で活躍する」というテーマが一層大切になるなか、「興味」をもち、「理解」「記憶」することをきっかけに、にんにくを育てる、水耕栽培する、加工する、販売する、食すという地産地消を、たくさんの方に少しずつでも体験していただくことで、若い方、働く方、ご高齢の方が一緒になって行う官産学共同にも寄与した。

- ①農業の機械化による高齢者の活用
- ②「芽子にんにく」プラントの情報化による障がい者、高齢者、女性、若者の雇用推進
- ③地産地消ブランドとして普及

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

青木村や地域社会との連携、官産学共同を継続し、さらに推進して、より多くの生産者や消費者をよい意味で巻き込んで地産地消モデルをやっていく。今後、すでに交流をすすめている首都圏のビストロの皆さまなどとも協働し、地域密着ながらもインバウンドも少しずつ取り込んでいけるよう発展する。

**※自己評価 【 B 】**

**【理由】**  
上記の目標①②については、想定の効果を得ることができたけれども、③については基盤整備の途にあり、引き続き力を入れて実施する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある